

会議名

令和 7 年度 釧路市障がい者自立支援協議会

教育・療育部会 第 1 回医療的ケア児・者支援検討会議(第 1 回教育・療育部会と同時開催)

開催日程等

- ・ 日 時:2025 年(令和 7 年)6 月 2 日(月曜日)14:30~15:30
- ・ 場 所:釧路市役所防災庁舎 5階会議室B

次第

1. 開 会
2. 挨拶 教育・療育部会長
3. 議 事
 - (1)今年度の活動内容
 - (2)情報提供
 - (3)グループワーク【テーマ:医療的ケア児者支援の課題について】
4. 閉 会

発言要旨

3. 議事

(1) 今年度の活動内容について

[部会長より説明]

- ・ 医療的ケア児・者等支援検討会議 2回(6月・2月)を予定

(2) 情報提供「芦野保育園における医療的ケア児に係る園内研修への参加報告」

[釧路市より説明]

- ・ 北海道医療的ケア児支援センターセンター長の土畠先生を講師として招聘した研修に参加。
- ・ 医療的ケア児は、6割が重度心身障害児、3割は歩ける、話せる、知的に問題がない医療的ケア児であり、普通の生活ができる児童が多い。
- ・ 本人たちは、学校に教育を受けに来ている。医療的ケアを受けに来ているわけではないため、本人ができることで、自立に向けて考えていく。
- ・ 本来の自立を目指すために、医療職は影となって支えることに徹することとしている。
- ・ 学校の先生がその子の自立を認めると子どものやる気は、医療職に言われるより効果的で達成感が異なる。
- ・ 蘭越町ケースの紹介、同町は通学途中に近所の助けを求められる体制を構築している。

(3) グループワーク テーマ:医療的ケア児者支援の課題について

- ・ 就労の場面では、早期の事業所見学を推奨している。
- ・ ショートステイ先の確保や医療的ケア児等コーディネーターの人材不足といった課題がある
- ・ 病院では、喀痰吸引など医療行為に関する特定の研修機会の調整も進められている。
- ・ 災害時の対応では、避難後の安全確保も含め、実践を重ねながら試行錯誤する必要がある。
- ・ 家族のレスパイトや兄弟支援のための施設やイベントの充実が求められている。
- ・ 医療的ケアを受ける子どもが、将来自立する観点が必要である。

- ・ 看護師雇用の事業所負担があり、自治体雇用などでの検討はできないか。
- ・ スムーズなステージ移行、在宅支援やショートステイ先の不足などケア継続の観点からは対応
- ・ 課題が非常に多い。

〈全体議事に対する質疑・意見等なし〉